

日本油化学会関西支部 第44回特別講演会

日時 平成27年7月24日（金曜日） 14時－17時

会場 常翔学園 大阪センター (<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>)

〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3F Tel: 代表 06-6346-6367

大阪毎日新聞社ビルと1Fで連結しています。徒歩; 10分 (大阪駅より)、8分 (西梅田駅)、5分 (福島駅)

演題と講師

1. 食用油脂のあれこれ

公益社団法人日本油化学会会長

北海道大学大学院水産科学研究院 教授

宮下 和夫 氏

人間に必要な栄養素はだいたい45-50種類と言われています。その中でも特に重要なものを5大栄養素といますが、脂質（油脂）もそのひとつです。とはいえ、タンパク質、ビタミン、ミネラルなどの他の栄養素と比べて、油脂はともすれば肩身の狭い思いをすることが多いのも事実です。「油脂＝肥満」の図式は今や常識ですので、多くの人は頭では油脂の取りすぎを気にします。ところが、無意識では、我々は油脂をいつも食べているのです。これは、長い飢餓を経験してきた人類にとって必然のことです。現代の日本ではほとんどの人は飢餓とは無縁かもしれません。けれども、ストレス社会の今、別の理由でわたしたちは油脂を欲します。結局のところ、生きていくためには油脂と上手につきあい、できたら美味しく楽しむことです。この講演では、食用油脂について、わたしたちの研究室で得た成果の幾つかをご紹介します。よろしくお願いいたします。

2. 高分子四方山話

ポリマーテクノソリューション代表

(元大阪市立大学大学院教授)

圓藤 紀代司 氏

高分子科学は合成、構造、物性、機能、加工、製造プロセスなど多くの領域と深く関係している。人類は高分子を認識なく昔から利用してきた。20世紀には高分子は学問として確立され大いなる発展を遂げた。本講演では合成高分子の中で代表的な汎用高分子とされるポリエチレン、ナイロン、ポリエステルなどの発見に至る物語について述べさせて頂く。また、高分子の発展の中で多くの新しい重合法などが開発され、精密重合の研究へと展開されてきた。その過程で高機能性高分子の研究や工業プロセスなども発展を遂げてきた。最近では、環境の観点から研究が多くなされている。本講演では環境の観点からの生産プロセスにおける変遷、再生可能な植物由来のモノマーを用いた研究、共有結合ではなく分子の空間束縛を利用した研究などについて演者の研究を含めた話題を提供する。

参加費 無料 当日テキストを配布します。特別講演会のみご出席の方は、事前の参加登録は不要です。

懇親会のご案内

特別講演終了後、同所において懇親会（17時－19時を予定）を開催いたします。

どうぞ皆様お誘い合わせの上、是非ともご出席下さるようお願いいたします。

会費（5,000円）は当日いただきますが、準備の都合上、懇親会に参加ご希望の方は、

7月17日（金）までに、ハガキ、Fax またはE-mail で下記事務局までお申し込み下さい。

懇親会参加の申込先、並びに問い合わせ先：

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町一

京都工芸繊維大学 大学院 工芸科学研究科 物質合成化学専攻 川瀬研究室内

日本油化学会関西支部 事務局 tel & fax: 075-724-7529

E-mail: oleo-kansai15@iml.chem.kit.ac.jp URL: <http://www.iml.chem.kit.ac.jp/kansai/>